



2 期目を迎えた LOVE BLUE 助成

発行：NPO法人
能登半島おらっ
ちゃんの里山里海
発行日：2020 年春

私たちが要望した「能登の里海環境・文化の持続可能性構築」活動が、独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金事業部から企業協働プロジェクト（LOVE BLUE助成事業）に承認され、2019年4月から2期目がスタートしました。活動計画は、①“里海”を「学びながら楽しむ」②“里海”を「みんなで守る」③“里山里海連環”を学ぶの3つです。

学びながら
楽しむ

1期目から実施してきたクリ

ンビーチや釣り大会を続けしながら、新たに里海を「学びながら楽しむ」活動として、ミニ地引網による海の生きもの調査に着手しました。ミニ地引網は、地元では「はだか網」と呼ばれ、昔から行われてきた漁法です。2〜3人いれば漁ができるので、漁師さんをお願いして網を作っていました。



6月15日（土曜日）午前中、三崎町の海岸で2カ所を選び、網を入れまし

た。波のうねりはありましたが、お天気は良好です。獲れたのは、A地点でアブラメ1匹、

グチの子1匹、B地点ではタナゴ5匹、クサフグ6匹でした。その後は、B地点で定点観測を続ける事にし、12月までほぼ月1回ペースで網を入れました。6〜11月はタナゴが多く、私たちが釣り大会で表彰対象にしてい

るキスはゼロ、アブラメも1匹という結果でした。フグについては、毎回数多く獲れました。

6月21日には、宝立小中学校の7年生が里海学習として地引網を体験し、海の生きものを調査しました。タナゴ8匹のほかメバル、ベラなど8種25匹が獲れて、珠洲の里海の豊かさを実感しました。

これからも、地域の将来を担う子供たちに、地域の伝統漁法「はだか網」を使った里海を学ぶ環境学習を行っていききたいと思えます。





地球環境基金 LOVE BLUE 助成



おらっちゃんの里海

釣り大会

・11月2日(土) 秋晴れの蛸島漁港で釣り大会を開催しました。今年の参加者は、珠洲市在住



の親子など14組。キスとアブラメで釣果を競いましたが、アブラメはわずか2匹しか釣れませんでした。

その代わりというわけではないですが、キスは全員で40匹を釣りまし



た。釣りを楽しんだ後は、蛸島漁港の清掃です。きれいになった港で記念撮影。

NPOの事務所に戻って計測です。キスを13匹も釣った西靖典・ことこのチームは、今年の総合優勝とキスの大物賞(24cm)を獲得しました。アブラメの大物賞は19cmを釣った竹中松雄・琴葉チームです。ほかにはベラ、カサゴ、タイなど、けっこういろいろな魚が釣れました。

表彰式の後、里山里海食堂へんざいもんで、おにぎりとけんちん汁、唐揚げなどをいただきました。

釣れた人も釣れなかった人も、それなりに楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

おさかな

ワークショップ

・2020年2月11日(火・祝)

旧正月に当たる2月11日は地元では起舟祭と呼ばれ、漁師にとって陸に引き上げてあった舟を起こして海に浮かべ、今年一年の大漁を祈る大切な日です。だから



というわけではないですが、「おいしいお酒のつまみを作ってみよう!」と、おさかなワークショップを開催しました。当然、参加者は大人の男性9名(お酒は抜きです)。



講師にはおさかなマイスターの前野美弥次さんをお迎えしました。メニューは、カワハギの肝醬油漬け井とアラを使った味噌汁、イカを使った肝和えなどおつまみ4種です。カワハギを捌く際には皆さんかなり苦戦していましたが、漬け井はねっとりとした甘さがあり、本当においしいです。

イカで作った肝和え、味噌和えなどのおつまみは、簡単に作れます。覚えておくときつと役に立つと思います。



みんなで
守る

おらっちゃんの

クリーンビーチ

・6月24日〜7月30日 今年は、これまでで最も多い5校がクリーンビーチに協力してくれました。昨年と違い天気にも恵まれ、企画した全校と予定通り実施することができました。

今年度までの4年間で、延べ10校414人の小中学生たちといっしょにクリーンビーチを実施し、漂着ごみを調査しました。ハンダグ文字の漂着物を拾った



6月24日 みさき小学校



6月25日 正院小学校

り、ペットボトルなどのプラスチックごみの多さに驚いたり、アンケートではあまり海に近づかなくなっている子どもたちの現実が浮き彫りになりましたが、少しでも身近な里海に親しむ機会になれたら——と思います。

学校名	みさき小	正院小	宝立小中	直小	大谷小中
参加人数	20名	15名	141名	47名	27名
プラスチック	52kg	51.7kg	87.4kg	33.6kg	59.9kg
発泡スチロール	1.2kg	0.2kg	0.5kg	2.0kg	3.5kg
金属類	0.7kg	0.3kg	1.6kg	3.2kg	21.5kg
ビン類	0.8kg	0.8kg	3.7kg	6.4kg	2.9kg



7月6日 宝立小中学校



7月6日 直小学校



7月30日 大谷小中学校

里山里海
連環を学ぶ

おらっちゃんの

森づくり

・10月26日(土) 昨年までは当NPO主催で実施してきた森づくり運動ですが、今年からは炭焼きを中心に“菊炭の山里づくり”を目指すNPO法人奥能登日置らいにバトンタッチし、私たちは共催者として今後もクヌギの植林活動にかかわり続けることになりました。

金沢方面からは、一般の方6名、津幡高校の生徒12名が参加し、



地元の宝立小中学校や緑丘中学校の生徒など総勢105名で植林を行いました。



を皮切りに9月13日の宝立小学校まで各校2回ずつ、協力いただいている農家さんの田んぼへ行って生きものの観察を行いました。



今年も珠洲市からの委託を受けて、市内9小中学校の3年生を中心にした児童を対象に「珠洲の里山生きもの観察会」を実施しました。5月28日の飯田小学校

生きもの観察会

保全活動・調査など
その他事業

した。この結果は、11月28日(木)にラポルトすずで父兄や市民の方たちを前に発表しました。各校、時間は5分ですが、子供たちはそれぞれに工夫を凝らし、一所懸命発表してくれました。

調査活動

アサギマダラ調査

・6月1日(土)・2日(日) 狼煙漁港と川浦海岸でマーキング調査を実施、みんなで25頭の蝶にマーキングしました。百万石蝶談話がまとめた調査結果によると、石川県内の観察数は減少傾向にあり、今回は587頭にマーキングしたそうです。今年からは珠洲市の後援もいただき、今後は子どもたちに関心を持ってもらえる活動になっていったらいいと思います。

砂ガニ調査

・8月4日(日) 鉢ヶ崎野営場で実施した親子ワークショップ「里海キャンブ編」に合わせて、



砂ガニ調査を行いました。市外から参加した親子は、鉢ヶ崎の海のきれいに感動。このイベントを通じて、海に興味を持ち、生き物の魅力や海岸保全の重要性について学びたいと思います。

その他調査

小泊ビオトープでは、モニタリング1000里地調査で、3月にアカガエル卵塊調査、6月にホタルの調査を行い、日本自然保護協会に報告しています。また、野々江地区では年3回のザリガニ調査を、粟津地区では年4回のドジョウ調査を継続しています。

入会のご案内

おらっちゃんの活動に参加しませんか？

会員募集！

持続可能な里山里海の事業づくりに向けて、仲間を募集しています。

<正会員> 運営に携わり、毎月の定例会、1月の総会に参加できます。

年会費 個人 5000円 団体 30000円

<賛助会員> 活動を支援していただき、保全活動に参加できます。

年会費 個人 一口1000円 団体 一口5000円

ご支援のご寄付も受け付けております。

NPO 法人能登半島おらっちゃんの里山里海
理事長 加藤秀夫

〒927-1462 石川県珠洲市三崎町小泊 33-7 金沢大学能登学舎1階

TEL・FAX 0768-88-2528

E-mail satoyamasatomi2006@gmail.com



保全活動



2019年
も延べ571
名の方が保全
活動に参加し
てくれました。
私たちは、山の
持ち主からお
預かりしてい

る保全林を、荒廃させないように維持管理に努め、小泊ビオトープでは、無農薬のもち米を栽培し、秋の収穫祭で餅をついて販売しています。耕作されなくなった田や畑を借りて、小豆やひやくまん穀米を栽培しています。このような活動は、山や畑に人の手を入れ、里地・里山として保全することであり、最終的には里海の保全へとつながっていきます。

・シイタケ栽培 昨年の販売実績は、生シイタケ10万円、乾シイタケ21万円の計31万円でした。不作と言われながらも、2015年の栽培スタートから2番目に

多い売上でした。品種はのと115です。

のとてまり「プレミアム」も1個ですが、収穫できました。ホダ木の切り出しから始まり、菌入れ、収穫、夏場の草刈りと、年間を通して保全林での保全活動があります。



・体験学習 シイタケのホダ木が並ぶ保全林には、地域を知る総合学習の一環で緑丘中学校の生徒が毎年訪れ、保全活動をしてくれます。今年も、宝立小中学校の生徒が保全林を散策し、海では地引網体験をしま



した。これからも、地域の里山里海を知ろう！という活動へのお手伝いができればいいと思います。

・ジュンサイ 6月の1カ月は、ため池に自生しているジュンサイ

イを採取して販売しています。

・子どもゆめ基金助成事業 6

月23日(日)にジュンサイ採り、8月3日(土)〜4日(日)にキャンプ体験の二つの親子ワークショップを実施しました。地元の方だけでなく、金沢方面からも参加いただき、珠洲の自然の良さを体験いただけたと思います。

・米づくりなど
年2回、いしかわ農村ボランテニアの方たちに来ていただき、田植えや稲刈り、畦草刈り、保全



林の下草刈りなどを手伝っていただきます。秋には、もち米やひやくまん穀米、小豆を収穫し、道の駅ですらで収穫祭を開催しています。私たちが提供するつき立ての餅は人気で、有り難いことにあつという間に売り切れてしまいます。今回は、自分で育てた小豆であんこを炊くことができました。美味しかったですよ。



2019年度保全活動

日付	内容	参加人数
3月9日	シイタケホダ木の玉切、運搬	4名
3月10日	鉢ヶ崎クロマツ植林	24名
3月16日	シイタケ収穫・乾燥、ホダ木の移動	7名
3月23日	シイタケ菌入れ	3名
3月26日	シイタケ菌入れ	2名
3月27日	シイタケ菌入れ	2名
3月30日	シイタケ菌入れ、乾燥シイタケづくり	7名
4月5日	乾燥シイタケづくり	3名
4月6日	シイタケ菌入れ、乾燥シイタケづくり	3名
4月12日	乾燥シイタケづくり	4名
4月13日	シイタケホダ木の移動	5名
4月20日	乾燥シイタケ袋詰め	5名
4月27日	小泊ビオトープの整備	3名
5月11日	乾燥シイタケ袋詰め	1名
5月11日	小泊ビオトープ畦塗り	4名
5月25日	小泊ビオトープ田植え	10名
6月8日	田んぼ畦草・保全林下草刈り	16名
6月24日	クリーンビーチ三崎	20名
6月25日	クリーンビーチ正院	15名
7月6日	クリーンビーチ宝立	141名
7月6日	クリーンビーチ直	47名
7月13日	シイタケホダ木の組み換え	5名
7月30日	クリーンビーチ大谷	27名
8月24日	小泊田んぼの草刈り	3名
9月28日	稲刈りとハザ架け	20名
10月22日	小豆のサヤぼり・もち米脱穀	6名
10月26日	菊炭の山里づくり運動	105名
11月4日	能登建設と合同保全活動	54名
11月9日	保全林整備・小豆のサヤぼり	8名
12月7日	保全林整備・小豆のサヤぼり	5名
12月14日	シイタケホダ木の移動	6名
12月21日	シイタケホダ木の移動	6名
		571名



できることから始めよう」

理事長・加藤秀夫



人を含め生命
あるものは自然
からの恩恵を受
け、相互に依存

し合い今日まで遺伝子を残して
きました。しかし、人類は今、そ
の自然を復元できない環境に変
えようとしていることに気づき
ました。私たちNPOは自然の恵
みを活かし、自然を守り、互いに
共生していく活動を行っています



す。今年からは地球
温暖化減速活動を
呼びかけ、プラスチ
ックゴミ問題につ
いて考えたいと思

っています。

生き物調査

能登半島では荒廃した山林や、
耕作放棄地が増えています。この
ことが生物にどのような影響を
及ぼしているのか、記録を残し、
その変化を調べることで、未来の
自然と生物多様性を考える指針
になると考えています。海の生き
物や海藻、アカガエル、アサギマ
ダラ、ホタル、野鳥、ドジョウな
どを調べ、記録しています。また、
外来種のアメリカザリガニの駆
除も行っています。

保全活動

過疎高齢化が進むにつれて維
持管理できない山林が増えてい
ます。力を合わせて間伐し、少し
ずつですが元の里山が回復しつ
つあります。炭焼きに用いる苗の
植林や、小中学生や市民とともに

海岸清掃なども行っています。

教育活動

豊かな自然環境にありながら
子ども達が野山で遊ぶ姿を見か
けなくなりました。自然環境の変
化と生き物の相互依存を肌で感



じ、命の尊
厳と思ひ
やりや、自
然への感
謝の心が
芽生える
ことを願
っています
。市内の
全小学3年生を中心生き物観
察会を実施しています。生き物と
環境の変化を調べ、児童が感じた
疑問を探究する機会となってい
ます。11月の「活動報告会」で
は、多くの市民が子ども達の発表
に聞き入っていました。

農業活動

自然の恵みを頂く農業生産活
動は昔からの伝統文化です。間伐
した木にシイタケ菌を植え、昔か

らのやり方で米を生産していま
す。また、美しい水で育つジュン
サイを採取しています。これらの
農産物を販売し、里山里海の保全
活動に活用しています。

将来の課題

過疎高齢化、少子社会、地球温
暖化問題、荒廃した山林、耕作放
棄地、空き家等問題は山積です。
一人一人の考えを出し合って多
様な意見を比べ合うことから始
めませんか？まずは考えたこと
を声に出すことが大切だと考え
ています。自然を愛する人、将来
の子孫に明るい未来を残したい
人、豊かな自然を教育に活かし
たい人、安心安全な食と農業を目
指す人は、NPO法人「能登半島お
らっちゃんの里山里海」までお問い
合わせください。

編集後記…最近の気候は変で
す。降るべき時に雨も雪も降らな
い。降らなくてもいい時と場所
が必要以上に降る。日本から四季
がなくなりそうです。私たちに何
かできることはあるでしょうか？